

あいたくてあいたくて

作絵 中村 伸 作詞 中村 伸



I want to be
close to you

I want to be close to you

あいたくてあいたくて

あるところに

いじわるばかりする きらわれものの おおかみが いました。

だから

おおかみには ともだちなんて ひどいも いません。

いつも ひとりぼっちでした。



作絵みやにしたつや



あしたは クリスマス。
こふたたちが クリスマスツリーの
かざりつけを していました。
「ねえねえ クリスマスには ふしぎな ことが
おこるんだよ」
「ステキな ねがいごとも
かなうんだよね」
「はくは なにを おねがいしようかなあ」

そんな こふたたちを
きの かげから おおかみが みていました。
「ヒヒヒ…… おれの おねがいは
「こふたを いっぱい たべられますように」 だけ。
ヒヒヒ……」
そう つぶやくと、おおかみは――



ガオ——!

こぶたたちを おいかけました。
そして あとすこしで
こぶたたちをつかまえそうに
なった ときです——
おおかみの あしもとから



「うわあ—— ケ、ケ、ケムシ——……
み、みまなくて よかった……」
おおかみが おるおる みるえて いると
ケムシが いいました。





「と、と、ともだち！
おまえみたいなの きもちわるい やつと
だれが ともだちになるか！
そ、そ、そばに よるな——！
あっちに いけ——！」
おおがみが そう いいながら
にげようと すると——

「わたしは みんなからの きらわれもの。
だれからも あいされない……。
あなたには たくさん
ともだちが いるかもしれない。
でも、でもね…わたしは ひとりぼっち……」
ケムシが なみだを
ボロボロ こぼしながら
そう いうと





おおかみほ ケムシを だきしめました。
そして
いいました。



「お、あれも……
ひとりぼっちなんだ……
おれで よかったら ともだちになろう。
ずっとずっと いっしょに いよう」



その日から ふたりは
いつも いっしょでした。

ビューン
おおかみは ケムシを
はなさきに のせると
すごい はやさで
はしりました。

「どうだい さもちいだろう?」
「うわあ—— すごい
はやい はやい/
わたし のろまだから
こんなの はじめて。すごい すごい」
ケムシは おおよろこび。



また あるひ、
ケムシは おおかみに
きのぼりを
おしえて あげました。
「あしと てに ちからを
いれて のぼるのよ」

おおかみは
あしと てだけでなく
おしりにも ちからを
いれすぎて
プ——
「エヘ、 おならしちゃった」